

学校の沿革

1872年(M5)	2月	川口学校として誕生し、上・下川口に各1校開講する。
1879年(M12)	11月	上下川口2校を合併し、校舎を新築し、名を川口村立修斉学校と改称する。
1887年(M20)		川口尋常小学校と改称する。
1894年(M27)	3月	高等科を併設し、川口尋常高等小学校と改称する。
1900年(M33)	5月	校地を現在の位置(瀬古地内)に移し、新校舎を建築する。この落成式の日を記念し、創立記念日を5月15日とする。
1908年(M41)	4月	尋常科6カ年に高等科2カ年を併設する。
1941年(S16)	4月	一志郡川口村国民学校と改称する。
1947年(S22)	7月	一志郡川口村立川口小学校と改称する。
1955年(S30)	3月	町村合併により、白山町立川口小学校と改称する。
1961年(S36)	1月	味噌汁給食を実施する。
1962年(S37)	2月	校歌を制定する。
1964年(S39)	9月	完全給食を実施する。
1977年(S52)	7月	プールが完成する。
1979年(S54)	5月	新校舎竣工式が行われる。
1984年(S59)	10月	川口児童屋内体育館が完成する。
1989年(H元)	3月	学級園を造成する。
1991年(H3)	8月	うさぎ飼育小屋が完成する。
1996年(H8)	1月	コンピュータを視聴覚室に配置する。
1999年(H11)	3月	県道の改修に伴い、運動場東拡幅整備、正門設置、体育館前駐車場を整備する。大型遊具移動設置、ブランコを設置する。
	11月	インターネットを接続する。
2002年(H14)	11月	学校前の県道に信号機が設置される。
2003年(H15)	1月	生ごみ処理機を設置する。
2005年(H17)	2月	運動場西側フェンス・スロープ・花壇を設置する。
2006年(H18)	1月	市町村合併により、津市立川口小学校と改称する。
	6月	北校舎外周フェンス及び北出入口門扉設置
2010年(H22)	1月	すべり台が設置される。(コンビネーション遊具撤去)
	6月	国立大学法人大阪教育大学と連携した人権教育の創造がはじまる。
2011年(H23)	1月	老朽化によりうさぎ小屋・禽舎を撤去し、跡地を学級園として造成する。
	8月	うんていが設置される。
2012年(H24)	5月	区長会よりアジサイ・サツキが提供され老人クラブにより運動場に移植される。
	11月	文部科学省委託人権教育総合推進地域事業を受け研究発表会を行う。
2013年(H25)	8月	県内外に呼びかけ本校における人権総合学習実践報告会を開催する。
	11月	全国人権同和教育研究大会(徳島大会)にて実践報告を行う。
2014年(H26)	3月	一志地区小学校統廃合に伴い、波瀬小学校よりグランドピアノを譲り受ける
	6月	土曜授業開始
	8月	県内外に呼びかけ本校における人権総合学習実践報告会を開催する。
	9月	南校舎トイレ全面改修
2015年(H27)	6月	川口小学校区に熊出没のため土曜授業を中止する。児童全員に熊よけの鈴を支給する。
	8月	県内外に呼びかけ本校における人権総合学習実践報告会を開催する。
2016年(H28)	4月	「かわぐちの学童」開所
2020年(R2)	1月	普通教室等空調設備設置工事完了